

## 自然資本

### 資本強化の取り組み概要

デンソーの事業活動は、工業用水の利用や、製品の原材料としての鉱物資源使用など、自然資本と密接に関わっており、自然資本の維持・保全是デンソーにとって非常に重要です。特にグローバル共通の課題である気候変動については、今まで培ってきた環境技術を応用して、革新的な環境製品を開発し、普及させることで、自然資本への負の影響の最小化に貢献するとともに、デンソーの企業価値を強化することができますと考えています。

デンソーは、環境経営方針「エコビジョン2025」に基づき、自然資本をリスクと機会の両面から捉え、自然資本の効率的な利用や環境負荷低減など、様々な角度から環境ニュートラルを追求し、地球環境の維持と経済価値創出を推進しています。

### 気候変動への対応～CO<sub>2</sub> Zeroモノづくり～

デンソーでは、生産工程の技術開発推進や全員参加による徹底した省エネ活動のほか、必要な時に必要なだけエネルギーを使用・供給するエネルギーJIT(ジャストインタイム)活動など、CO<sub>2</sub>排出量削減に向けた省エネ活動を積極的に推進し、「エコビジョン2025」で定めた2025年度目標「エネルギーハーフ(2012年度比CO<sub>2</sub>排出量原単位2分の1)」の目標達成を目指しています。2022年度時点で(株)デンソーでは3年前倒しで目標達成、グループ会社でも前倒しで目標を達成できる見通しです(2022年度実績(株)デンソー: 50(▲50%)、国内・海外グループ: 51(▲49%))。

今後は、Factory-IoTなどの技術を活用した省エネ活動を継続・強化するとともに、経済合理性を考慮した再生可能エネルギー由来電力・ガスの購入や太陽光パネルによる自家発電の導入、現在実証中のエネルギー循環システムの他工場への順次導入などにより、「モノづくりにおける完全なカーボンニュートラル」を目指していきます。

### 環境汚染防止

デンソーでは、「製品のライフサイクル全体で化学物質の使用をできるだけ少なくする」という基本方針のもと、欧州ELV指令\*1、欧州REACH規則\*2をはじめとした各国・地域での法規制動向を踏まえ、製品に含まれる環境負荷物質の低減に向けて取り組んでいます。また、工場では、取り扱う化学物質を「禁止・削減・管理」の各レベルに分類し、製品に使用する全化学物質を独自の管理システムで一元管理することで、代替技術の開発と同時に使用量・排出量を継続的に削減する取り組みを推進しています。

\*1. End-of-Life Vehicles(廃車)指令の略。2000年10月に発効された、使用済み自動車に関する欧州連合の規定。2003年7月以降販売の新車に含まれる化学物質を順次、原則使用禁止とする

\*2. Registration, Evaluation, Authorization and Restriction of Chemicalsの略。2007年6月1日に発効した化学物質の総合的な登録、評価、認可、制限の法規

### デンソーの自然資本の特徴(2022年度実績)

CO<sub>2</sub>排出量(グローバル)  
**141万t-CO<sub>2</sub>e(Scope 1・2)**

再生可能エネルギー利用量(グローバル)  
**607,892MWh(再エネ比率22.8%)**

※ 実績はクレジットを反映した値  
対象は国内外生産拠点(グループの生産会社各社を含む)

### 資源枯渇防止・資源循環

デンソーでは、循環型社会に向けて、廃棄物・排出物の最小化やリサイクル、水使用量の削減など、資源の有効利用に向けた活動を推進しています。例えば、省資源に配慮した加工法や廃材の出にくい製品設計による主資材(金属・樹脂)・副資材(油脂・薬液)の排出物発生抑制、必要な時に必要なだけ必要となる水を供給・管理する「水ジャストインタイム(JIT)」の導入による水使用量削減などの活動を推進しています。また、お客様・サービスステーション・株式会社デンソーソリューション・株式会社デンソーリマニが連携してリサイクルネットワークを構築し、オルタネータやスタータを回収・再生して、新製品と同等の性能検査により品質を保証して出荷するリビルト事業を展開しています。

### 生物多様性

デンソーのビジネスは自然資本と密接に関わっており、自然資本に関連が深い生態系の保全是企業経営に直結する課題と考えています。デンソーは、気候変動対応や環境汚染防止、資源枯渇防止・資源循環に向けた取り組みを通して生態系を保全するとともに、事業活動以外にも、事業所周辺地域における地域固有の生態系の保全・復元や希少生物の保護など、社員とその家族・NPO・地域が一体となり、事業活動と生物多様性保全の両立に向けて活動を推進しています。

#### デンソーの技術で希少生物の保全を目指す

#### 「西表島yuriCargo(ゆりかご)プロジェクト\*」

環境省西表自然保護官事務所と協働で、デンソーの提供する「yuriCargo」と呼ばれるスマートフォンで運転をスコアリングし安全運転意識を高めるアプリを活用し、西表島を運転するドライバーの安全運転意識を高め、制限速度順守を心掛けることで、絶滅のおそれのあるイリオモテヤマネコの交通死亡事故ゼロを目指すプロジェクトを推進しています。

\* 期間: 2023年5月17日から2024年3月31日まで